

市報

お

特集

曽於市で 生きる企業たち

7

vol.133

特 集

曾於市で 生きる企業たち

目 次

○曾於市で生きる企業たち……………	3
○まちの話題……………	10
○市民提案型実施報告・採択事業 ……	12
○曾於地区春季畜産共進会……………	16
○校区・地区公民館長……………	18
○曾於市青少年指導員……………	19
○市からのお知らせ……………	20
○図書館だより……………	34
○情報掲示板……………	36
○市民の広場……………	38
○私たちの“美味しそお”発見伝	39
○曾於文藝……………	41
○戸籍の窓……………	42
○くらしの情報……………	43



今月の表紙

曾於市に夏の訪れを告げる「どろんこ祭り」が、財部温泉健康センター隣の田んぼで開催されました。行われた競技は、ミニバレー、どろんこフラッグ、どろんこ尻相撲の3つ。

泥にまみれた参加者の悲鳴と歓声が財部に響きわたっていました。

SOO Good FM 番組表（7月）

87.4 MHZ

	月	火	水	木	金	土	日					
6:30	6:40 ～市役所からのお知らせ					6:40 ～市役所からのお知らせ	6:40 ～市役所からのお知らせ					
7	SOO Good Morning !					サニサタ！	サニサン！ SOO Sunny Sunday					
8	SOO トピックス					SOO Sunny Saturday	日曜クラシック					
9						そおナビ	そおブランチ					
10								おくことは				
11	しるしる そお市					図書館だより						
12	ごちそおランチ					モー モー ブー ブー	よかどが！そお					
	12:40 ～市役所からのお知らせ					Mow Mow Boo Boo						
13	eco! しちゃお。	午後も SOOKAI ! ～サマータイム～				SOO イチ	Café de SOO					
14	津曲食品のあまい、ゆうわく。					そおだ！	サンデーマガジン					
15								土曜はヒップレ				
16												
17	おやっとさ～！			スズキアリーナ大隅 presents Weekend ナビゲーション		ゴジ×ラジ！	ウィークエンド SOO					
18	今日もテゲテゲ！			問題解決！ 田中総合事務所		Let's Go! So!So!So!	どんどんどんサンデー					
19	So So そお星人					土曜は好っちゃがよ！	今夜も feel soo good !					
	19:40 ～市役所からのお知らせ						懐かしの feel soo good !					
20	SOO Good Night !											

A scenic view of a valley with mountains in the background and hydrangeas in the foreground. The foreground is filled with lush green foliage and several large, light purple hydrangea flowers. In the middle ground, there are dense green trees and a small cluster of buildings nestled in a valley. The background shows rolling mountains under a clear sky, with some foliage visible in the upper corners of the frame.

特集

曾於市で 生きる企業たち

曾於市には誇れる企業があります。「曾於市から世界へ」「全国から曾於市へ」
どんどん進んでいくそんな企業を今回、3社取材してきました。

日本有機

末吉町諏訪方

曾於市でできること

有機肥料の先駆けともいえる日本有機。そこだけに留まらず、様々な分野に広がりを見せています。

いいと思ったものを組み合わせで、いいものをつくっていく

—日本有機さんはやはり有機関係の事業をされているんでしょうか

そうですね、友人に「これからは有機の時代ですよ」って言われて応援する意味で有機肥料などの有機資材事業を始めました。その頃は化学肥料が万能だと言われていたので、「農薬が売れなくなるからやめてくれ」って言われたりしましたが、今では三大事業のひとつとして会社を支えてくれています。

—三大ということは、他にも…？

ひとつが、薩摩鴨ですね。当社では、孵化という1次産業、処理・加工が2次産業、販売の3次産業まで、今でいう6次産業まで行っています。

—貫して行う会社というのは珍しいんでしょうか

孵化をさせて、合鴨水稲する農家さんに渡したら終わりというのが多くて、農家さんも困ってそのまま川に離してしまったりしていたので、環境問題になっていました。それを鹿児島大学の先生から「日本有機でやってほしい」と言われて、やり始めたんです。

—まったく違う分野なのにやろうってなるのがすごいですね！そしてもう一つは？

代表取締役会長

川崎 暢義

**人脈ってすごく大事
いい人も悪い人も両方**

1977年創業、有機肥料の製造・販売として設立。現在は有機資源事業の他に、薩摩鴨事業、健康食品事業などを持つ。自社販売製品である「さつまいも冷麺」が、日本エアコミューターのうちわに採用され、全25路線にて配布、また実際の商品を機内で販売している。(7月末頃終了予定)

もうひとつが、サプリメント。健康食品事業です。今、当社には「くろず納豆」と「麴の和み力」の2つがあります。

—これまでとまた全然違う分野ですね

これもその分野の博士から「にんにくと納豆をサプリにしたらいいよ」って言われて。そのとき、とある社長に話したら「川崎さん、鹿児島なんだから黒酢もろみも入れなきゃ」って言われて、「いいねそれ！」ってやったら、すごくよかった(笑)

—会長はなんでもやるんですね

いいなって思うものを組み合わせるんですよ。

もうひとつの「麴の和み力」は、にんにくに麴菌を生やすことに成功しまして、これ世界初なんです。

—それはすごいですね

「麴の和み力」も「くろず納豆」も、効果が早いみたいでたくさんお手紙がくるんですよ。「花粉症に効いた」とか「不眠症が治った」とか。

—そういった科学的というか、サプリ開発などをされていたことがあるんですか

いや、東京では都市開発をしていたので全然ですね。50代でこっちにきて、有機肥料をやろうと思ったから畜産の町で面白いって聞いていた末吉にきたんです。



大きくなって戻ってきた薩摩鴨。農場は広く、ストレスが少ない環境でクラシックを聴かせながらしばらく育てる。



薩摩鴨の雛。この状態になってから農家に引き渡し、大きくなったら水田に放たれ、虫や雑草を食べる。

プレゼント情報

インタビューにも出てきました日本有機のサプリメント「くろず納豆」「麴の和み力」を6名様にプレゼントいたします！応募方法など詳細は [38 ページ](#)をご確認ください。



くろず納豆：花粉症・鼻炎が気になる方、季節の変わり目がつらい方に。くろずもろみ・納豆・にんにくの3つの元気パワーがカプセルにギュッと詰まった健康食品です。

麴の和み力：眠りが浅い方、肌の調子を整えたい方、ストレス・イライラに。世界初のにんにくと麴菌が融合した健康食品です。

—曾於市にいらっしゃったのも、人からの勧めだったんですね

人脈って人生ですごく大事なんですよ。いい人も悪い人もいるけど両方必要ですね。

僕は、自分よりベルの高い人と付き合うようにしているから、すごく得してるんだと思いますよ

—最後に、日本有機のこれからを教えてください

「くろず納豆」と「麴の和み力」はこれからアジアでも販売していく予定です。台湾に住んでいる方が「ぜひ、こちらでも売りたい」と言ってくださったので、台湾を始めとして、香港や北京など中国にも広がっていくんじゃないかと思っています。

薩摩鴨も、鹿児島大学と協力して改良を進めているので今後も楽しみにしててください。

取材メモ

「会社で失敗があると社員は《会長がやった》って言うんだよ、僕が関係ないときも。まあその方が「また会長か」「会長ならしょうがない」ってなるらしいんです」と笑いながら話してくださった川崎会長。今なお、新しいことへの貪欲さを忘れない会長の下だからこそ、社員のみなさんも挑戦ができてののだと感じました！

常にオンリーワン
ナンバーワンを
目指していく

代表取締役社長

益留 福一

1986年創業。「小さな大企業」を目指し、絶え間ない商品開発を続ける。
人間が行っている作業を代わりに行う機械（＝自動省力機器）の設計から製作まですべて一貫生産し、そのジャンルは食肉関連や電子部品、自動車部品関連などとても幅広い。

曾於市から世界へ

国内外から10万人もの関係者が集まる国際食品工業展でも、かなりの注目を集めたマトヤ技研。改めて今後の展望をお伺いしました。

独立しようと決めた時から「世界に持っていけるものを開発する」と思っていた

—南日本新聞で『豚肉肋骨はく離機シェア』日本一』という記事をみたので、食肉の機械専門かと思っていたのですが、ほかにも色々とされているんですね

そうですね。食肉関連だけでなく、電子部品の生産装置や自動車部品の生産組み立てをする装置などもやっています。

ひとつの分野だけだと景気の影響をかなり受けやすくなってしまうから、バランスをとれるようにしないと。

—沿革をみると、一番最初に開発したのは「寝たきり者用入浴補助具（家庭用）」とありますね

寝たきりの人をお風呂に入れるのは大変だし、介護関係は補助金が出るので作りしました。まあ、実際につくったのは3台くらいだけだね（笑）

—そのあと、全く違う分野の「ミート用肋骨剥離具ミスターテンダー」の開発になっっていますがまたガラッと…

やっぱりここは畜産の町ですし、ナンチクさんに知り合いもいたので、機械のニーズもあるんじゃないかなと、工場を見せてもらっただけです。

その時に、骨を抜く作業をしている人たちが大変そうだったから「これができる機械を開発させて欲しい」とこちらからお願いたんです。

—向こうからではなく、マトヤ技研さんの方からだったんですね

そうですね。ナンチクさんに協力してもらいながら開発して、完成まで2年ぐらいいかりました。

会社を始めた当時は商工会の名簿をもって一軒一軒まわって色々な提案をしながら仕事をもらっていたりもしたんですよ。

開発には時間がかかるんですね

人がやっていた作業を機械にどう反映するかと考えて、設計して、部品を作って、組み立てて……しかもやってみたいとわかっていないから、根気との勝負です。でも、やっている面白さ、達成感がある。

このミスターテンダーは最初の年で120台くらい売れて、かごしま産業技術賞と発明協会の知事賞をもらえました。

これで食肉業界にも広まって取引も増えたので、そのあとも大腸切開機など開発を続けて、今では50種類以上あります。

なぜ、剥離機や切開機などをつくらうと思ったんでしょうか

やっぱり難しい作業、人手だと大変な仕事を機械にさせないと機械は売れない。オンラインでナンバーワンを目指さないと。それに、独立を決めたときから「特許のとれる開発をして、世界に貿易ができる会社」と思っていたので、世界中で使われるものをつくりたかった。ミスターテンダーはすぐに海外の工場で作られるようになりました。



右手が本社。左手は昨年できたばかりの新工場。本社は曾於市だが、工場は県境を越え、宮崎県都城市になる。

夢は叶ったんですね。今ではどれくらいの会社と取引されているんですか

海外だと15カ国ほどで使われています。国内だと全国で200社くらいですかね。食肉の会社さんだと7割はうちの製品を使ってくれています。

絶えずに改良・開発をしていく。途中で挫折したら何にもならない

今はどのくらいの社員がいらっしやるんですか

営業、開発、設計、組み立て、大阪営業所などもいれて全部で46人ですね

益留社長自身も設計をされていたということですし、技術者集団という感じですね

うちでは営業も組み立てを全部経験するんですよ。機械を知らないと言えないから。

全国をまわるんですが、営業しながら簡単な修理もしちゃう。お客さんたちは喜びますよ。

そんな営業さんだと心強いですね。

そうやって現場で聞いたお客さんの意見を反映させて、自分とこの機械をどんどん改良する。

開発の人も大変ですね……

うちではだいたい5つぐらい同時進行で開発を進めている。そうすると、ひとつ行き詰っても置いて、他のことをやればいいんですよ。

できないってことはないんですか

それは、ないね。しばらくしたら「あれをこうしたらいいん

じゃ？」っていうのが出てくるから。出てくるまで置いとけばいい(笑)挫折してしまっただけにもならないから。これができたらどれだけの仕事かと言われるとか、やらないと先がないと思えば、諦めずに進める。

最後に、曾於市で会社をやっている良かったと思うことはなんですか

私はここが地元だから帰ってきたんだけど、そこそこの会社をつくって、帰ってくる人や地元で就職する人たちが受け入れられる会社にしたというのもあったんです。自分も実際、大阪から仕事を辞めてきたから。今では都城市の高校から新入社員もくるし、Uターンの受け皿にもなってる、よかったと思っています。



創業当時から目標であった特許も、今では23保持している。現在申請中のものもあり、次々と開発を進めている。

取材メモ

技術者！といった説得力あふれるお話をしてくださった益留社長。開発の話は素人の私でもわかりやすく教えていただきました。マトヤ技研として一番最初の仕事は、末吉町にある太陽漬物の野佐根社長（当時は主任だったそうです）からの依頼だったそうで、地域のつながりをすごく感じました！

財部町北俣

たからべ 森の学校

地域の方の やさしさが決め手 でした



サイバーウェーブ
代表取締役

小野 公裕

本社であるサイバーウェーブ（鹿児島県鹿児島市）が運営する職業訓練校。農業の人材育成をメインとする訓練校は県内ではここだけであり、全国的にも珍しい。農業人材育成科だけでなく、調理補助者養成科、農産加工販売科、農業生産・アグリビジネス科など、調理関係などの訓練も行う。

曾於市に職業訓練校を

立ち上げから3年。今では全国から問い合わせがくるといふ農業の職業訓練校に。運営元であるサイバーウェーブにこれまでの話を伺いました。

曾於市に來ているうちに、ここを拠点に思うようになった

―運営元であるサイバーウェーブはどんな会社なのか

サイバーウェーブはホームページ制作とその運営支援をやっています。企業の採用向けのホームページだったり、観光協会だったり様々ですが、企画から取材、記事作成まですべて行っています。

―曾於市の観光協会や曾於市役所の公式ホームページもお世話になってます…

そうですね。曾於市さんとの一番最初のお仕事は観光協会のホームページ「そおナビ」でした。半年間、専任スタッフを市役所に置かせてもらって、取材から写真まで一から全部作らせていただきました。私自身も週に3日くらいは曾於市に来て、色々まわったりして。

―その時から曾於市で何かやるぞというのはあったんですかねとなく「ここを拠点につくりたいな」くらいに思っていました。本社は鹿児島市内にあるんですけど、もうひとつ拠点が欲しいなと思っていて。その時に曾於市に来て「ここだったら色々メリットがある」と。

— メリットというところ？

曾於市のまわりには、霧島市、鹿屋市、都城市という大きな都市があるので、ホームページ制作の営業拠点にしたなら、どこにも行きやすいなと思ったんです。偏らずに色々なところに行ける。それで曾於市内でいい場所はないかと探していたんです

— 最初から職業訓練をやるうというのではなく、営業拠点として選んだんです

はい。でも、ただ営業拠点ををつくっても売上げが立たないので、何か売上げを確保できる事業がないかと考えていた時に、職業訓練校を思いつきました。大隅町にハローワークはあるけど、職業訓練校は曾於市内になかったの。

そうしたら、財部北中跡地でなにかやりませんか、という募集が市からあって、これだ！と思って、トントンと決まりました(笑)

**ここにくると自然と気持ち
が上がるみたいで、いい循環
ができています**

— 職業訓練校つてもっと固いイメージがあったので驚きました

他にないですよ。こんな、訓練中の写真をバンバンホームページ



農産加工販売科の授業中の様子。受けに来る方の年齢は様々で、県外から通う人も。

— ジに載せてる訓練校(笑)

この間もどろんこ祭りに出たり、マルシェとかも呼ばれたので出店したり、色々しています。

— 地域の方とすごく交流しているイメージがあります

そうですね。地域の方には本当にお世話になっていて。ここに来るときも、そのやさしさが決め手でした。

立ち上げ当初の機械がないときは、トラクターを貸してただけで、教えてもらったりもしました。本当にありがたいです。

— 写真を見ると、訓練生の方もすごく楽しそうですね

それがすごくプラスになっているんです。職業訓練にくる時って不安だし、気持ち的には一番底にいます。私も訓練校に通っているときは、そうだったんです。

— だけど、ここにくると自然といみたいで。地域の方との交流も場所も、すごく癒される。結果的に前向きになって就職も決まっています。いい循環ができています。

— 今後やっていきたいことはありますか

森の学校を始めて丸3年たつて、おかげさまで職業訓練の方は安定してきたので、次は一般の方が自由に学校にきてもらえるようにしたいな、と考えています。

— 具体的には？

まず、カフェをやろうと思っています。

去年、恋活をやった時にご飯を食べた部屋で参加者の人に「ここ、普段はいつ開いてるんですか」って聞かれたんですよ(笑)

— ここがカフェになったら、気軽にお茶を飲みに来てもらえるんじゃないかな、と。キッズスペースも作ろうと思っています。

— 今度はカフェなんですけどね！とても楽しみです

他にも、今年も恋活イベントをやりますし、お化け屋敷をやるうとか色々あります。うちの会社って何の会社だっけってスタッフは思ってるんじゃないですか(笑)

— だけど、うちは「ホームページ制作会社」じゃなくて、「企画として、ホームページを使う会社」なので、提供するサービスの真ん中には企画があるんです。

— これから地域の交流の場として、どんどん発展をしていきたいと思っていますので、よろしく願います！



学校では座学や調理実習を行っている。農業訓練のための畑も学校からすぐのところであり、地域との交流も多い。

取材メモ

訓練の実績のない会社が職業訓練校を新規で立ち上げるのはほぼ不可能らしく、「農業で人材育成」でなければ、始められていなかったとおっしゃっていた小野社長。社長が柔軟に、できることを考え続けたからこそ、今この場があるのだなと感じました。発展し続けるたからベ森の学校、今後も楽しみです！



防災への心得を話す江崎さん

6月1日、曾於市観光特産開発センターで当センター職員を対象に防災についての講演が開かれました。

講師は市危機管理監の江崎隆一さん（元陸上自衛隊員）。「まずは、自分たちのいる場所がどのような地形かを知ることが大切。正常化の偏見を持たず、常に危機感を持つて対応してください」と防災への心得を話しました。受講した職員は「今回の研修で防災への知識が深まった。ツアーのお客様を安全に案内できるように努めます」と話しました。

ツアー客の人命を守るために



説明を受ける高校生と受け入れの方々

5月11日、横浜の高校生が修学旅行で曾於市を訪れ、新緑が薫る悠久の森や桐原の滝を満喫しました。

案内人は曾於市ボランティアガイドの寺島さん。修学旅行生を受け入れたグリーンツーリズムの方も一緒に参加しました。

悠久の森では新緑を楽しみながら、山菜の収穫体験などを行い、天ぷらにして美味しくいただきました。その後、桐原の滝に移動。マイナスイオンをたっぷり浴びてお腹と心を満たし、大満足の様子でした。

横浜の修学旅行生 曾於市を満喫



市管工事業協同組合の皆さん

6月2日、市役所本庁で曾於市管工事業協同組合ボランティア活動の出発式が行われました。

同組合は末吉7社、財部3社、大隅4社の計14社で組織されています。毎年、水道施設の維持管理に必要な仕切弁等の開閉確認やボックス内の清掃・整備などを行っています。

同組合理事長の川原英明さんは「安全第一で事故のないように作業してください」とあいさつを述べ、市長が「恒例のボランティア活動に対し感謝申し上げます」とお礼を述べました。

市管工事業協同組合ボランティア活動出発式



道路清掃を行った吉ヶ谷村づくり会の皆さん

5月15日、吉ヶ谷村づくり（財部町）の皆さんが県道都城隼人線（5km弱）の清掃活動を行いました。今回で6年目となるこの活動は、鹿児島県が進める「ふるさと道サポーター推進事業」の一環で、同会が年に3回（5月、7月、8月）実施しているものです。

当日は25名が参加。ビーパーで草を払ったりゴミ拾いなどを行いました。

作業を終え「車で通る人に曾於市の道路はきれいだねと言ってもらえるように頑張りました」と汗を拭いながら話しました。

地域住民が心を込めて道路清掃

花房峡憩いの森ジョギング大会



5月15日、花房峡憩いの森で「第10回花房峡憩いの森新緑ジョギング大会」が開催されました。

この大会は、青少年の健全育成や地域の活性化を目的に、新緑の中を走りながら自然の偉大さを堪能してもらうイベントです。

本大会コースは最大で90

ス。2 km、3 km、5 km、8 kmの4部門32種目に市内外から約200人が参加しました。

目標タイムを目指して懸命に走る選手や、思い思いに自分のペースで走る選手、親子・友人などさまざまなランナーに、沿道に詰めかけた観客から盛んに声援が贈られていました。

初夏の風物詩 どろんこ祭り開催



5月29日、財部温泉健康センター隣の田んぼで「どろんこ祭り」が開催されました。

この祭りは「豊かな自然の中でみんなが創る笑顔輝く元気なまち」をテーマに市の魅力をアピールする目的で行われました。

競技種目はミニバレー、どろんこフラッグ、どろん

こ尻相撲の3つ。ミニバレーには市内外から26チーム(204人)の参加があり、田んぼの中だと感じさせないハイレベルな戦いが繰り広げられました。

道の駅きらら館のお弁当販売や焼肉セットの有料貸出もあり、参加者は「曾於市のおもてなしに大満足です」と話しました。

自分たちのアイデアを 活かしたまちづくり

平成 27 年度市民提案型地域づくり事業実施報告

「市民提案型地域づくり事業支援補助金」は平成 24 年度から開始した補助金です。平成 27 年度に採択された 13 事業（新規 5 件、継続 8 件）の実績報告が届きました。どの事業も各団体のアイデアが素晴らしい取り組みとなっていましたので紹介します。



新規事業

桐原みづすかい 実施団体

桐原青壮年会

桐原の滝と三連轟の間に位置する桐原自治会内の竹林の伐採・雑草除草剤散布を行いました。放置されていた地域内がきれいになり、道路が広くなりました。また、桜の苗木を計画よりも本数を増やして植栽しました。桜並木を目指して、来年度も続けていこうと思っています。



食・音 S O O スタイル 実施団体

食と音を組み合わせたイベントとして 9 月には世界の料理の振る舞いとコンサートやマジックショーを開催しました。落語や講演会を組み

合わせたイベントにも協力しました。これからも食と音楽、落語の組み合わせで地域住民との交流を図りたいと思います。



合わせたイベントにも協力しました。これからも食と音楽、落語の組み合わせで地域住民との交流を図りたいと思います。

中谷花いっばい運動 実施団体

中谷花いっばい運動実行委員会

地域の女性リーダーが中心となり「花いっばいの里 中谷づくり」を行いました。長寿会など校区民の協力を得て、数カ所にパンジー等の花を植え、美しい景観づくりを行いました。遊休地を利用したそばの植栽面積も増やしました。今年は中谷小学校の子どもたちがひまわりを植える予定です。



みんなで楽しく楽器を学んで 上手になろう 実施団体

曾於市吹奏楽連盟

市内 11 の小中高・一般の吹奏楽団の枠を取り払い、楽器別講習会を 10 月に実施しました。12 月に

第 6 回曾於市吹奏楽フェスティバルを行い、成果を発表できたと思います。今後、市全体で楽器の演奏レベルを上げ、子どもから大人まで楽器に興味を持ってもらえるように活動していきたいです。



おもてか鹿兒島弁 実施団体

鹿兒島弁べぶんこ会

社会福祉法人、サロン、夏祭り、敬老会等に出前講座で出演したり、警察署との連携による出前講座も実施しました。また鹿兒島弁と共通語を結ぶ遊びを実施し、子どもたちへ鹿兒島弁を継承することができたとおもいます。鹿兒島弁を通して幅広い年齢層の人とふれあうことができました。





シバザクラで美しい郷土作り

実施団体
きばろ会

昨年に引き続き同じ場所へのシバザクラの植付けを行ってきましたが、住民の意見を踏まえ少しですが、橋野地区にも植付けを行いました。今後はより多くの場所、すぐ立ち寄れる場所に植付けを拡大していきたいです。

歴史あふれる曾於の探求

実施団体

南峰文化研究会

今年は弥五郎どんを研究テーマにした3回の講演会を開催したり、曾於や周辺地域の歴史や文化

を調査探求し、研究紙「南峰」第4号を発行しました。これから地域の歴史を市民と共有していきたいです。

そおで一緒に暮らす

外国の仲間達と手をつなごう

実施団体

日本語れんしゅう会inそお

曾於市内に住む外国人を対象に日本語の練習会や異文化交流会を実施しました。受講生の熱意に支えられ活動しました。今年度はスタッフが受講生と1対1の体制で日本語を教える予定です。

地元の自然で地域おこし!!

実施団体

池山と周辺地域を元気にし隊

池山（末吉町岩崎）にある池や水路を活用し、つり大会やホタルの放流大会を実施しました。多くの方がイベントを楽しみにして参加してくれました。自治会内外の道路に案内看板の設置も行いました。

菅牟田村づくり事業

実施団体

菅牟田校区公民館

毎年5月に開催する「ホタルと水車の夕べ」に向けてのぼりを新調し、多くの来訪者に来てもらいました。その他にもホタル竹太鼓法被を作成したり、すがむた校区元氣祭りを開催しました。

財部小金管バンドの

恩返し大作戦!

実施団体

財部小金管バンド

約半数が新入部員でしたが、1年間、月に2回のペースで講師の先生にご指導いただきました。秋の体育祭シーズンには、マーチングの指導以外にも外部指導を招き、充実した練習内容を得ることができました。様々な場所で演奏する機会をいただき、ありがとうございました。

小規模校の子どもたちに 合唱の楽しさを!!

実施団体

野ばら混声合唱団

岩南小学校の子どもたちと小規模校ではできない「コーラス」を一緒に楽しみ、学習発表会にも参加しました。合唱団のメンバーは高齢ですが、心の豊かさと役立っ喜び、生きがいを感じ、心より感謝しています。

「伝えたい曾於の味」 プロジェクト

実施団体

末吉高校家庭クラブ

念願だったレシピ集を完成させ、本校や曾於高校生、地域の方々に配布することができました。またそお花めしの素の研究や、様々なイベントへの参加、食育講座を開催しました。家庭クラブ委員だけでなく生徒全員でより地域に密着した活動を実践することができました。

平成 28 年度市民提案型地域づくり事業 支援補助金の採択事業が決定しました!!



今年は行政が指定したテーマである結婚応援事業（婚活）に取り組んでいただく団体も募集を行いました。

審査の結果、本年度の「市民提案型地域づくり支援事業補助金」の採択事業が決定しましたので紹介します。

継続事業を含めて 15 事業が採択です。その中から新規採択事業 7 件の事業内容を紹介します。

今年のこれらの活動にぜひご注目ください。

とまり木

原口 光久 さん



事業名

この指とまれ

末吉町深川の原口連合公民館を交流の拠点とするため、敷地内に手作りのテーブルやイスを設置し、コーヒーを提供し集いの場にします。男性のためのサロンや児童たちとふれあえるイベントを開催します。

田代谷地域起こし隊

室田 三郎 さん



事業名

地元の自然の中で コンサートによる地域起こし

末吉町南之郷にある田代谷展望台を中心に野外イベントを開催します。県外のアーティストや地元の子どもたちによるステージ、ミニ動物園、野菜などの軽トラ市、手作り品の展示販売会などを開催し、地元住民と県外からの来場者との交流を目指します。

吉ヶ谷村づくり会

大川原 主税 さん



事業名

隅っから 炭で住みたいまちへ

財部町吉ヶ谷では、現在でも共同で炭焼きを行っています。地元産業の炭焼きを伝承をするために、今回新たに公民館敷地に大きめの炭焼き窯を作ります。炭づくりを高齢者の生きがい対策にし、また炭焼きに合わせイベントを開催したいです。

婚活同好会

原口 輝男 さん



事業名

恋い来い婚活事業

シルバー人材センターの会員で婚活同好会を結成しました。地域のお節介なおじいちゃん・おばあちゃん、若い世代に出会いをプロデュースします。郷土料理を手作りしてもてなし、曾於市に楽しく永住してもらえようサポートします。



村山 勝幸さん

曾於市商工会青年部

事業名

婚活・恋活事業

「Loveee”SOO”Sweet」

「甘い恋のはじまりは秋の曾於市から」

曾於市で働く青年に貴重な出会いの場を提供します。市内の農・商工業関係の青年団体を中心に、その他の団体とも連携を図り青年団体の横の連帯感を深めます。また、曾於市の魅力を宣伝できる絶好の機会ですので、場所やお土産などを工夫して曾於市をPRし、地域経済の活力アップのために楽しいイベントを開催します。



島子 正一郎さん

南部地区公民館

事業名

子どもと高齢者のふれあい活動

「ふれあい活動」

末吉南部地区公民館では、これまで取り組んできた公民館活動に加えて、もっと子どもたちと高齢者が共に参加できる活動を充実させるために十五夜行事などを計画しました。子どもと高齢者が相互に教え合うテーマなどを探して、いろいろな活動に取り組みたいです。



児玉 勝雄さん

NPO法人そお文化村

事業名

異文化にふれよう

「国際交流フェスティバル」

市内に居住する外国人住民が、出身国の芸能や文化を披露したり食事を提供するなどして交流の機会を作ります。外国人と市民とが交流することで互いの文化への理解を深め、住みやすい曾於市にするための提案をし、実施していきたいです。

このほか前年度からの継続事業も採択されました。

団体名	代表者	事業名
きばろ会	鶴田 真一 さん	シバザクラで美しい郷土作り
南峰文化研究会	勝目 興郎 さん	歴史あふれる曾於の探求
菅牟田校区公民館	平牟禮 富廣 さん	菅牟田村づくり事業
財部小金管バンド	平原 修司 さん	財部小金管バンドの恩返し大作戦！
桐原青壮年会	田畑 裕二 さん	桐原みごつすかい 28
中谷花いっぱい運動実行委員会	小園 宗治 さん	中谷花いっぱい運動
曾於市吹奏楽連盟	大迫 伸一 さん	みんなで楽しく 楽器を学んで上手になろう
鹿児島弁べぶんこ会	胡摩ヶ野 千穂 さん	おもしてか鹿児島弁

【問い合わせ】

企画課 男女参画・協働推進係

☎ 0986-76-8802

平成28年度 曾於地区春季畜産共進会



平成28年度曾於地区春季畜産共進会が5月18日に、曾於中央家畜市場で盛大に開催されました。また、共進会に先立って末吉・財部・大隅でそれぞれ品評会が開催され、36頭を選抜し、日ごろの飼育管理の成果が競われました。

共進会では、各地区の予選を勝ち抜いた精鋭の牛が集結する中、曾於市からは、多数の牛が上位に入賞しました。



畜産共進会とは？

能力の高い家畜の生産により、畜産経営の安定化と消費者の食の安全・安心を推進するため、参加した家畜の改良成果を検証する大会です。

春季と秋季の年2回開催され、その品質を競います。



曾於地区春季畜産共進会
曾於市出品者結果 ※敬称略・最優秀賞成績順・優秀賞月齡順

肉用牛1部

最優秀賞

森岡 六男 末吉町橋野宮脇
内山 健一郎 末吉町新住吉
森岡 六男 末吉町橋野宮脇
榮鶴 裕樹 末吉町富田
立元 竜二 財部町畛ヶ山
松村 ミヤ子 大隅町縄瀬

優秀賞

和泉 順子 大隅町中坂元
酒匂 孝一 大隅町新原
吉元 琢美 財部町平野

肉用牛2部

最優秀賞

森岡 雄次 末吉町橋野宮脇
吉岡 信作 大隅町大島
板野 尊俊 大隅町橋飛佐
板越 次雄 財部町板越
アグリファーム中島 大隅町伊屋松

優秀賞

福留 聖治 大隅町柳原
須田 あつ子 末吉町西高松
中崎 義美 財部町板越
東山 徹 財部町閉山田
須田 あつ子 末吉町西高松
福岡 義信 財部町溝ノ口

肉用牛3部

最優秀賞

森岡 六男 末吉町橋野宮脇
森岡 雄次 末吉町橋野宮脇
堂園 大将 財部町鳥越
小浜 光 大隅町中坂元

優秀賞

白川 敏郎 財部町荒川内
福岡 義信 財部町溝ノ口
新原 めぐみ 大隅町下須田木



肉用牛4部(父系群)3頭1組

最優秀賞

森岡 六男 末吉町橋野宮脇
森岡 六男 末吉町橋野宮脇
森岡 六男 末吉町橋野宮脇
福留 聖治 大隅町柳原
朝倉 政博 大隅町市吉
和泉 秋成 大隅町中坂元
増吉 千房 財部町宇都
野田 昭文 財部町正部
板越 一男 財部町板越

出品種目・資格月齡

種 目	月 齡	品 種	産 地	期間・資格
1 部	12 力月齡 未 満	黒毛和種	地区内産	2 代以上登録牛の産子で登録されているもの。 平成 27 年 5 月 1 日以降生まれたものでせり市終了のもの
2 部	12 力月齡 ～ 16 力月齡	黒毛和種	地区内産	2 代以上登録牛の産子で登録されているもの。 平成 27 年 1 月～平成 27 年 4 月末日までに生まれたもの
3 部	16 力月齡 ～ 18 力月齡	黒毛和種	地区内産	2 代以上登録牛の産子で登録されているもの。 平成 26 年 10 月～平成 26 年 12 月末日までに生まれたもの
4 部 父系群	せり市終了後 ～ 18 力月	黒毛和種	地区内産	2 代以上登録牛の産子で登録されているもの。 平成 26 年 10 月以降生まれたものでせり市終了のもの

曾於市校区・地区 公民館長連絡協議会

あいさつ



会長 橋元孝一

曾於市校区・地区公民館長を代表し、一言ごあいさつを申し上げます。近年、人口減少が加速しており、人の流れを都市から地方へと大きく変える「地域創生」の実現が望まれています。このような中、公民館は、これまで地域活動の拠点として、多種多様な取り組みを行ってまいりました。今後さらに地域が活性化するためには、地域の魅力を発信することのできる人材づくりを進めていくことが必要です。本年、全国公民館研究集会で「地域創生は、公民館から」のテーマが掲げられ、私たちは、今後ますますの公民館活動の一層の充実・発展を図り、地域の皆様と共に励んで参りますので、ご協力くださるようお願い申し上げます。

末吉地区



南部地区 島子正一郎



西部地区 熊谷道博



東部地区 中田一男



中部地区 高良博夫



岩北校区 大野信一



高岡校区 大津亮二



檜校区 宮田月美



北部地区 吉永辰美



深川校区 原口光久



光神校区 郡山久夫



諏訪校区 吉山弘巳



岩南校区 片田昭一



笠木校区 幸田康則



菅牟田校区 平牟禮富廣



岩川校区 福満清則



柳迫校区 福岡 勝

大隅地区



月野校区 橋元孝一



大隅南校区 吉田辰夫



恒吉校区 新留 昇



大隅北校区 市吉幸二



中谷校区 吉村幸治



財部南校区 西丸國治



財部北校区 富岡英治



財部校区 池上勝義

財部地区



曾於市青少年指導員が決定

教育委員会では、地域に根ざした青少年の健全育成を推進するために、市内各小学校区公民館から推薦された48名の方に、青少年指導員を委嘱しました。

任期は2年で、各校区を中心に子ども会や公民館活動などのサポート、市内の子どもたちを対象にした「青少年リーダー研修」、「子どもフェスタ」等の行事を計画・実行していきます。

地区	校 区	氏 名	地区	校 区	氏 名	地区	校 区	氏 名
末吉	末吉中部	藤 後 順一郎	末吉	諏訪	鮫 島 道 夫	大隅	岩川	丸 田 瑞 穂
		宇 都 順 久			稲 留 勝 裕			中 内 文 男
		中 吉 ル ミ		光神	山 田 正 一			菅牟田
		大 谷 猛			濱 田 隆 一		白 川 博 美	
		岡 元 宏史郎		深川	持 永 亜由里		笠木	加 塩 満
	末吉東部	中 馬 孝 行			東 迫 こずえ			森 山 真 一
	末吉西部	山 元 美 紀		柳迫	重 住 博		大隅北	吉 田 和 博
	末吉南部	竹 石 幸 浩			未 定			園 田 浩 美
	末吉北部	中 迫 則 夫	財部	宮 田 良 一	恒吉		久木田 勝 則	
	檉	豊 満 光 明 [㊟]		今 西 勇 次			山ノ内 洋 一	
		外 園 良 作		鎌 原 輝 夫	大隅南		橋 元 正 浩	
	高岡	丸 山 俊 雄		財部北			中 村 郁 夫	月野
		新 田 栄 博			田 畑 廣 利		原 田 浩 郎	
	岩北	川 崎 照 子		財部南	藤 清 道 [㊟]		永 江 洋 一	
		坂 元 やよい			徳 留 健太郎			
	岩南	古 川 齊	中谷	年 神 竜 一	㊟…会 長			
		片 平 勇 作		小 園 恵 祐	㊟…副会長			

市からのお知らせ

曾於市役所からみなさんに知ってほしい情報をまとめました。

曾於市有機センターからのお知らせ

曾於市有機センターの営業日と新しい堆肥製品のお知らせ

曾於市有機センターは平成 28 年 4 月から、毎月第 1・3 土曜日も営業しております。
また、堆肥の新製品・有機魂も販売を開始しました。

【営業日】 毎週月～金曜日午前 8 時 30 分～午後 5 時まで
第 1・3 土曜日 午前 8 時 30 分～午後 5 時まで
※ただし、国民の祝日・年末年始（12 月 29 日～翌年 1 月 3 日まで）は休み

【製品販売価格】（税込）

製品種類	区分	内容量	市内価格	市外価格
森の華 1 号 (牛糞)	袋詰	15kg 入り	280 円	310 円
		フレコンバック 500kg	3,400 円	4,120 円
	バラ（配達料込）	2t 車 1 台	11,320 円	15,430 円 松山町 14,400 円
		4t 車 1 台（3.5t）	19,800 円	27,000 円
森の華 3 号 (牛鶏混合)	散布（堆肥代込）	2t 車 1 台	12,960 円	15,430 円 ※松山町のみ
新製品 有機魂 (牛鶏混合)	袋詰	15kg 入り	310 円	
		フレコンバック 500kg	3,930 円	
	バラ（配達料込）	2t 車 1 台	12,960 円	
		4t 車 1 台（3.5t）	22,680 円	
	散布（散布料込）	2t 車 1 台	14,600 円	
土着菌	袋詰	500g 入り	310 円	360 円
		15kg 入り	2,060 円	2,270 円

お問い合わせ先

曾於市有機センター
☎ 0968-28-8440

有機堆肥で土づくりを！

有機堆肥で品質向上と
収量アップを！

里親募集説明会 開催のお知らせ

里親とは、様々な事情により家族と暮らすことができない子どもを、家族の一員として自らの家庭に迎え、愛情と真心を込めて養育してくださる方のことです。養育をお願いする子どもの年齢は 0 歳から 18 歳、養育期間は数カ月から数年と様々です。

できる限り家庭的な養育環境の中で、特定の大人との継続的で安定した愛着関係のもと、子どもの健やかな成長を支えていくために、多くの里親を必要としています。

里親募集説明会 ※事前の申込みは必要ありません。お気軽にお越しください。

日時 平成 28 年 7 月 29 日（金） 昼の部 14 時～16 時／夜の部 18 時～20 時

場所 そお生きいき健康センター会議室

内容 DVD による紹介・概要説明・個別相談（希望者）等

お問い合わせ先

大隅児童相談所 ☎ 0994-43-7011
曾於市福祉事務所児童福祉係 ☎ 0986-72-0936



市営住宅 入居者募集のお知らせ

市では、市営住宅の入居者を随時募集しています

平成 28 年 5 月末現在、募集中の空き家は下記のとおりです。

末吉地区	構造	間取り	家賃	募集戸数
川内団地	中層耐火（4 階建）	3 DK	1 万 6,800 円～	2 戸
光神第 2 団地	木造平屋	3 DK	1 万 2,700 円～	1 戸
光神第 4 団地	木造平屋	3 DK	1 万 6,100 円～	1 戸
岩北団地	木造平屋	3 DK	1 万 5,000 円～	1 戸
丸山団地	木造平屋	3 DK	1 万 5,700 円～	1 戸

大隅地区	構造	間取り	家賃	募集戸数
天神丘団地	中層耐火（3・4 階建）	3 DK	1 万 6,300 円～	13 戸
中野団地①	簡易耐火（2 階建）	3 DK	1 万 4,000 円～	1 戸
中野団地②	低層耐火（2 階建）	3 DK	1 万 6,500 円～	1 戸
菅牟田団地	簡易耐火（2 階建）	3 DK	1 万 3,100 円～	4 戸
中坂元団地	木造平屋	3 DK	1 万 1,800 円～	3 戸
吉村迫団地	木造平屋	3 DK	1 万 2,100 円～	2 戸
笠木第 4 団地	簡易耐火（2 階建）	3 DK	1 万 2,200 円～	1 戸
坂元団地	木造平屋	3 DK	1 万 1,900 円～	1 戸
河原団地	木造平屋	1 LDK (高齢者単身向け)	1 万 5,300 円～	1 戸
南団地	木造平屋	3 DK	1 万 5,300 円	1 戸

財部地区	構造	間取り	家賃	募集戸数
鳥越団地	木造平屋	2 LDK	1 万 9,500 円～	2 戸
南方神社団地	木造平屋	3 DK	1 万 2,500 円～	1 戸
水ノ手団地	簡易耐火（平屋）	3 K	8,200 円～	1 戸

入居資格

① 現に同居し、または同居しようとする親族がいること。

※ 単身での入居には別途条件があります。

② 収入月額が 15 万 8 千円以下であること。

③ 住宅に困窮していることが明らかであること。

④ 持ち家がないこと。

⑤ 市税に滞納がないこと。

⑥ 入居しようとする親族全員が暴力団員でないこと。

その他

▽ 市営住宅の家賃は所得に応じて決定します。

▽ 敷金は家賃の 3 カ月分です。

▽ 連帯保証人が 2 名必要です。

▽ ペットを飼育することはできません。

▽ 退去時に、畳と襖の交換が必要です。

入居者の選定

随時募集については先着順で、各住宅の募集戸数に達するまで受付を行います。

受付期間 随時

お問い合わせ先

末吉地区 本庁 建設課
財部地区 財部支所 建設水道課
大隅地区 大隅支所 建設水道課

☎ 0986-76-8811

☎ 0986-72-0941

☎ 099-482-5953



生活トラブルのはなし

新聞の契約トラブル

お問い合わせ先

商工観光課
消費生活センター
☎ 0986-76-8823

【事例】

3日ほど前、自宅に新聞勧誘員が訪問し、「新聞販売促進のため無料で景品を配っている。ノルマがあるので受け取ってほしい」と頼まれ、タオルや洗剤をもらった。景品受取りの確認のため書類に名前を書くように言われて記入したが、内容はよく見なかった。後になって、契約になっていたのではないかと心配になった。どうすればよいのか。

(70代 女性)

全国の消費生活センターには、新聞の契約トラブルに関する相談が毎年多く寄せられています。「何度も断ったが、押し切られ仕方なく契約した」「断ったつもりだったのに、いつの間にか契約したことになっていた」といったトラブルが主な内容です。

○事例の他にも、購読開始時期が「1年後の〇月から」といった数カ月～数年先のいわゆる「先付け」と呼ばれる契約があり、記憶力の低下等が見られる高齢者の場合は、時間が経つと契約したこと自体を忘れてしまい、配達が始まってから初めて契約していたことに周囲が気付くケースもあります。

○訪問販売でクーリング・オフができる期間は契約書面を受け取ってから8日間です。それを過ぎると「〇年〇月〇年〇月」など、期間が決まっている購読契約は、消費者の都合で一方的に解約できないのが原則です。不要な場合は早めにクーリング・オフの手続きを取ることが大切です。

○ただし、不適切な契約が行われていた場合や契約期間中に購読者の転居、死亡その他やむを得ない事情が発生した場合は、販売店との話し合いにより中途解約できる可能性があります。

契約トラブルは、時間が経つほど解決が難しくなります。困った時は早めに消費生活センターにご相談ください。

¥「熊本地震」生活支援金のお知らせ

熊本地震で被災され、本市へ避難された方に生活支援金を交付しています。

対象者

平成28年熊本地震の発生時点で、避難元市町村（平成28年熊本県熊本地方の地震に係る災害救助法の適用地域）に住所があり、本市へ避難した方で、全国避難者情報システムの避難先等に関する情報提供に同意された方

条件

本市に避難し、1カ月以上居住すること

支援内容

▽移動費用支援金…避難者1人当たり2万円（小学生以下の方は1万円）

▽生活支援一時金…避難者1人当たり6万円（実家または親族宅に滞在するときは3万円）

※生活支援一時金は、1世帯当たり30万円が上限です。（実家または親族宅に滞在するときは15万円）

必要なもの

（1）平成28年熊本地震被災者支援金交付申請書

（2）避難先等に関する情報提供書面

（3）被災証明書か罹災証明書、または避難元市町村に居住していたことが確認できるもの（運転免許証、健康保険証など）

※（1）、（2）は本庁および各支所福祉担当窓口にあります。市ホームページからもダウンロードできます。

受付時間

午前8時30分～午後5時15分

※土・日・祝日を除く

お問い合わせ先

財部 福祉課福祉事務所 ☎ 0986-72-0936
本庁 介護福祉課 ☎ 0986-76-8807
大隅 保健福祉課 ☎ 099-482-5925